

ごみ問題

問 ごみ焼却量減少が顕著ですが

答 合意した広域化計画に変化はない



渡辺俊夫議員

【計画の抜本的見直し】

問

地域の急激な人口減少と少子高齢化、また、観光客の大幅な減少と少子高齢化により白馬山麓清掃センターでのごみ焼却量減少が顕著となってきました。村財政逼迫の現下、ごみ減量化の促進を強化しながら既存施設の延命化を図るなど抜本的な見直しを行う必要があると思

村長

減少理由が住民の努力か、宿泊客の減少か、はつきりしないのでもう少し推移を見守る必要があると思



包装容器回収箱を設置してごみ減量化を支援する大型店舗

問

14〜18年度の焼却量推移は広域連合推

らと比べて単独で行う方が良いということにはならないと思

村長

計で6%減、実績では15%減となっております。48トン（新焼却炉計画処理日量）にこだわらず実情に合わせた取り組みになると考えています。

問

9月議会挨拶で「広域連合の考え方（その2）も配布しました。更に質問が出されており、その回答は現在作成中であり、できましたら全戸配布する予定となっております。」と話して

村長

隠す理由もありませんので、広域連合が主体的にやっている部分については確認をすれば返答ができると思

問

3月17日に活断層調査の説明会がありました。どのよう

村長

活断層が建設候補地の方に向かってはいないのだから、理解できたのではないと思

問

最後の挨拶で「不安の一つは取り除かれま

村長

これで懸念が全て払拭されたとは思いますが、一部についてはご理解

現をしたと思っています。また、決して次のステップで調査に入っていくというような発言はしなかったと考えています。

【村の観光ビジョン】

問

どのような観光地を目指していくのか一向に見えてこない。燃料、食材高騰に対する施策は。

村長

ペレットストーブの購入補助事業を行っています。食材高騰に対して市町村単位での取り組みは難しいのが現状です。

問

観光事業の後継者育成に関する施策は。

村長

観光立県長野再興計画の事業化を待っての取り組みとなります。

問

急増する外国人長期滞在観光客に対する環境整備施策は。

村長

看板等の表示はわかりにくいとの声もありますが、英語やローマ字表記も増加しています。